

溶連菌

～どんな感染症～



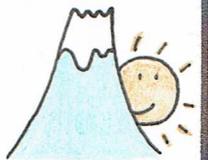
2019年のスタートです

風邪などひいていませんか？

冬は空気が乾いているため鼻や口、肺などの
呼吸器疾患が多くなります。

手洗いうがいをし、予防を心がけましょう！

今回は「溶連菌感染症」について紹介します。



★溶連菌感染症ってなに？★

正式には A群β溶血連鎖球菌 といいます。

この細菌によって起こる感染症です。

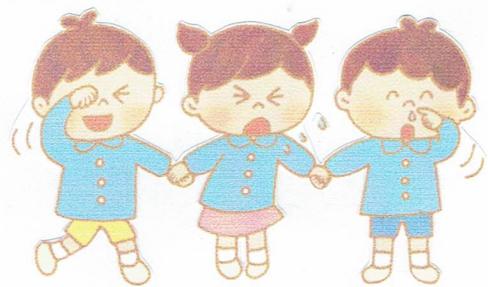
流行時期はおもに11月～4月で一般的に2～10歳の子供に多く
幼稚園や保育所、学校など集団生活の場で感染、大人でも感染します。



飛沫感染



接触感染



★症状をチェックしよう★

- 発熱 (38℃～39℃)
- のどの痛み
- 莓舌 (舌にイチゴのようなブツブツ)
- 腹痛
- 吐き気
- 首筋のリンパの腫れ
- 扁桃腺の腫れ

感染してから2～5日で症状があらわれます。

※症状が全てあらわれるわけではなく、症状は異なります。



★治療★

発熱やのどの痛みなどの症状は、抗生物質を服用すると2～3日でよくなります。しかし、症状がよくなったからといって、抗生物質の服用を途中でやめると、再発する危険があります。10日間内服が必要です!!
しっかりと薬を服用しないと、急性腎炎・リウマチ熱など長期に治療の必要な合併症をおこすことがあります。

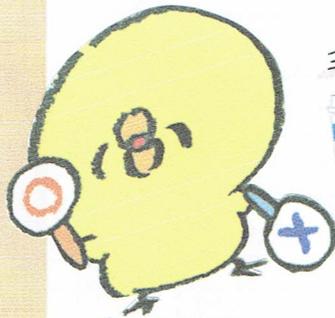
★登園・登校について★

溶連菌感染症は、学校保健法によって管理を受ける「条件によっては出席停止の措置が必要な病気」の一つです。

少なくとも、受診した日とその翌日は出席停止が求められています。
抗生剤服用24時間以上経て全身の状態が良ければ登校可能です。



★のどが痛い時 食欲がない時は?★



ヨーグルト



スープ

ゼリー



おかゆ

煮込みうどん



茶碗蒸し

とうふ



★予防をしよう★

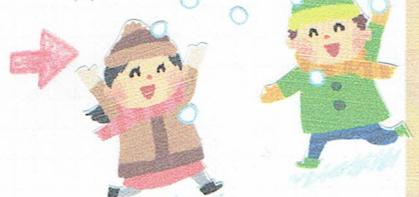
手を洗う



うがいをする



マスクをする



家族の方が感染した時は、タオルや食器などは別々に使用しましょう!